

労働条件・労働環境の改善を！

教育・訓練を充実させ、技術継承を！

**「グループ会社と一体となった業務体制のさらなる推進」に伴う
出向社員の働きがい向上を求める申し入れ **提出!****

1. 「グループ会社と一体となった業務体制のさらなる推進」の実施に伴う、成果と課題を明確にすること。
2. 「グループ会社と一体となった業務体制のさらなる推進」による委託業務拡大に伴い、労働環境・労働条件の改善結果と今後の見通しをグループ会社毎に明らかにすること。
3. 今施策の趣旨に基づき、10年後の若年出向者解消に向けた考え方を明らかにすると共に、プロパー社員の育成計画および育成状況を示すこと。
4. 各事業所の作業責任者は構内業務に熟知し、プロパー社員を育成できる者を配置し、休日や夜間も含め、的確な作業指示を出せる体制の構築を、グループ会社に徹底すること。
5. 各事業所における連絡体制フロー、作業指示書、判断業務の範囲など、委託側・受託側の行う作業内容を明確にし、偽装請負に対する具体的な防止策を徹底すること。
6. ダイヤ改正における作業内容や作業体制の変更は、現場社員の声を反映し、安全に作業ができる体制の確保を、グループ会社に徹底すること。
7. プロパー社員からの構内運転士新規養成は、車両構造等を学び技術・知識を身につけるため、車両メンテナンス業務を経験した上でおこなうこと。また、グループ会社毎の指導操縦者および教導運転士に対する教育計画を具体的に示すこと。
8. 出向（エルダー含む）社員の総労働時間数を、JR本体の現業機関と同等にすること。
9. グループ会社の忌引休暇をJR東日本と同等にすること。
10. 出向（エルダー含む）社員に保存休暇制度を導入すること。
11. 出向（エルダー制度含む）に際し、業務内容や労働条件にかかわることなど、出向先の情報を前広に提示し、丁寧な懇話を行うこと。

出向社員の労働条件向上を強く求めます！